

無事故・無災害をめざし、気持ちを新たに

『令和8年度 高田河川国道事務所建設労働災害防止大会』を開催

9月30日（水）糸魚川市のマリンドリーム能生において、上越労働基準監督署の内田副署長様、妙高警察署の菊池交通課長様を特別講師としてお招きし、「令和8年度高田河川国道事務所建設労働災害防止大会」を開催しました。

この大会は、毎年9月第4週の北陸地方整備局「建設労働災害防止週間」活動の一環として、発注者・受注者が一堂に会し、工事現場における労働災害の撲滅を図ることを目的に行っているものです。

当日は、受注者の工事担当者、安全対策協議会役員、監督支援業務担当技術者、事務所職員など、約90人が参加、安全への意識を再確認するとともに、労働災害のない安全で安心して働ける職場環境の構築を目指して邁進することを確認しました。



大会の状況

これまで以上に気を引き締め安全衛生管理の徹底を



開会挨拶をする尾崎会長

開会の挨拶で、尾崎会長（高田河川国道事務所長）は、「建設産業は、社会資本の整備や維持管理を行い、地域の経済、雇用を支える基幹産業であるとともに、近年激甚化する災害時には、いち早く現場に駆けつけ、応急対策や復旧作業に取り組むなど、地域の安全・安心を支える重要な役割を担っている。

しかし、依然として労働災害や公衆災害が多く、当事務所においても転落、転倒や工具の取り扱いによる負傷、架空線の切断などの事故が発生している。

建設産業が継続的に役割を果たしていくうえで、担い手確保が喫緊の課題となっており、そのためにも引き続き緊張感をもって安全管理に努め、工事事故を無くしていくことが最も重要である。

本大会を契機とし、関係者一丸となって、安全確保への取り組みをお願いしたい。これから工事条件も厳しい季節となってくるが、これまで以上に気を引き締め、安全衛生管理の徹底をお願いしたい。」と、呼びかけました。

事故が発生したら…警察にも第一報を より慎重な運転操作と安全確認の徹底を

妙高警察署の菊池交通課長からは、「各種活動中における交通事故防止について」と題しましてご講話を頂きました。

「作業事故が発生した際は、現場からまず警察にも第一報をお願いします。時間が経つと現場の痕跡等が消えたりして正確な事故の状況把握や再現確認が困難となるため、第一報を頂きたい。

次に作業において、人間慣れてくると作業の簡略化や漫然と作業し事故を起こす。作業マニュアルを疎かにせず遵守することが作業事故防止につながる。また建設業は、扱う機械や車両が大きく重大事故につながる恐れがある。これから冬季を控えより慎重な運転操作と安全確認の徹底をお願いしたい。」と話されました。



妙高警察署 菊池交通課長

今年8月末までに上越労働基準監督署管内で発生した 建設労働災害は19件！うち、2件が死亡事故！！



上越労働基準監督署 内田副署長

上越労働基準監督署の内田副署長からは、「建設業における労働災害防止」と題してご講演をいただきました。

上越労働基準監督署管内では、令和8年8月末までに、建設業では19件の労働災害（前年同時期－16件）、うち死亡事故が2件（前年同時期＋1件）発生したとの報告があり、特に死亡事故については、発生状況の説明及び再発防止や安全のポイントについて、解説頂きました。

更に、下請負契約の時の注意点、禁止行為と防止対策について説明頂き、最後に、10月1日～7日の「全国労働衛生週間」の紹介がありました。

令和8年度 安全優良受注者の紹介

高田河川国道事務所発注工事から2者が表彰

9月7日に新潟市の北陸地方整備局において、令和7年度に完成した北陸地方整備局管内工事受注者332者の中から18者が、安全管理優良受注者として表彰されました。

受賞者18者うち、高田河川国道事務所発注工事から、「令和5・6年度三段滝地区洞門補修工事」を受注した創和ジャステック建設(株)さんと「R6 上沼道 米岡第一高架橋下部その7工事」を受注した田中産業(株)さんが表彰され、本大会において、ご披露させて頂きました。



令和8年度 安全優良受注者
創和ジャステック建設(株)さん(写真左)
と田中産業(株)さん(写真右)

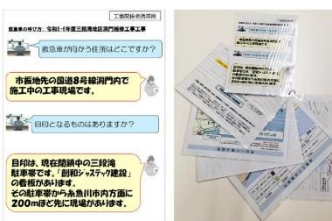
安全管理事例報告

工事名;令和5・6年度三段滝地区洞門補修工事

受注者;創和ジャステック建設(株)



創和ジャステック建設(株)
白濱さん



現場への救急車の呼び方手順(セリフ)
(現場内全作業員に配布し周知)

① 当該工事における安全管理上の課題

本工事は、「天下の嶮・親不知」として知られる国道8号の洞門補修工事であり、狭隘な洞門内での片側交互通行規制による施工となり、特に、鋼製洞門補修時の吊り足場は通行車両のための建築限界の確保が求められ、極めて狭小な環境での作業を余儀なくされた。



② 課題に対して現場で行った安全対策

- 1) 鋼製部材塗装には鉛が含まれるため、ケレン作業では「循環式ブラスト設備」を設置し、保護具・防護服の適切な着用、外部への飛散防止を徹底するとともに、狭所での熱中症対策として、こまめな現場巡視の実施、塗装工は交代で実施するなど安全管理に努めた。
- 2) 梁・柱部の補修は足場や高所作業車上の作業となり、資機材の吊り上げ、荷下ろしを頻繁に行う必要があることから、墜落・転落防止対策、並びに飛来・落下対策を徹底した。



ケレン作業交替要員



開口部対策

③ その他工夫している点

下請の作業員には現場の土地勘がない者も多いことから、事故発生時に『誰でも迅速に救急車を要請すること』ができるよう、119番通報の際に現場の位置を説明する「セリフ」を作成し、現場内・現場休憩所への掲示、並びに下請作業員の通勤連絡車両への搭載を行った。

工事名;R6 上沼道 米岡第一高架橋下部その7工事

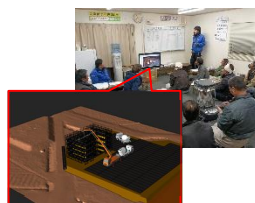
受注者;田中産業(株)

① 当該工事における安全管理上の課題

工事の特性として、近接した農道下に農業用パイプラインがあり、施工ヤードの広さに制限があった。また、狭隘な仮締切内での施工であり、機械と作業員が接触するリスクが大きい現場であった。各工種毎の機械配置計画が必要であり、場所打杭の施工時には資機材、生コン車、作業員が限られたヤード内に混在することから、機械・車両の配置や動線を明確にした安全な作業計画の立案が課題となった。

② 課題に対して現場で行った安全対策

CIMモデルを活用し、機械・車両の配置・動線を可視化することで、施工前に作業手順の検討や干涉箇所の共有を行い、安全な作業計画の基、無事故で工事を完成させた。



3Dモデルによる作業手順周知会

③ その他工夫している点

■安全教育

VRによる体験型安全教育 等

■現場作業環境の充実 作業計画 周知状況

雨具乾燥室、ヘルメットシャワー(洗浄・除菌)、快適トイレ 等

■熱中症防止対策の強化

プレクーリング(氷菓子常備)、充電式クーラーボックス、スポットクーラー 等



VRによる体験型安全教育



田中産業(株)
竹澤さん



雨具乾燥室



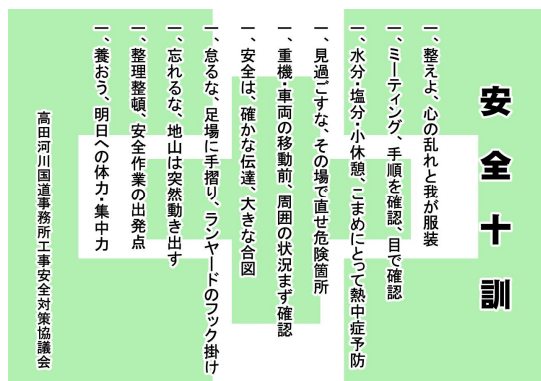
現場でのクーラーボックス配備、氷菓子常備

『安全十訓』の確認

相村建設(株)の篠原さんの発声により参加者全員で『安全十訓』を唱和し確認しました。



相村建設(株) 篠原さん



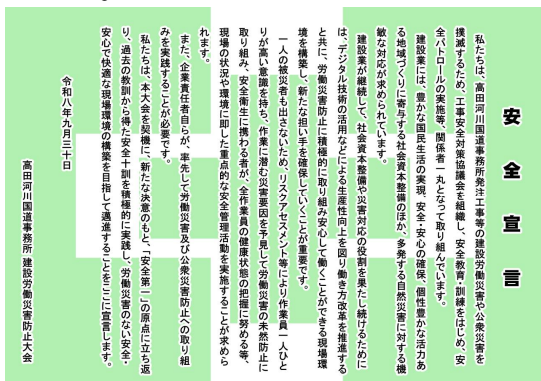
参加者全員で「安全十訓」を唱和

『安全宣言』の採択

(株)谷村建設の五十嵐さんから、「一人の被災者も出さないため、本大会を契機として安全管理の原点に立ち返り、労働災害のない安全で安心して働ける職場環境の構築を目指す」と『安全宣言』を提案し、満場一致で採択されました。



『安全宣言』を提案する
(株)谷村建設 五十嵐さん(写真右)



新しい知識や助言を水平展開し、事故削減を

閉会の挨拶に立った西田副会長（西田建設(株)代表取締役）は、「建設業界は、次の世代を育てていかなければならない時期に入っています。人を育てていくためには、経験が欠かせないことであると思います。過去の経験を振り返り、何がベストなのか選択できるようにしていくことが非常に重要です。本日の大会でお話しのありました新しい知識や助言を当協議会内はもちろんのこと、各構成メンバーの別の工事でも水平展開し、工事事故が削減できるように取り組んで頂きたい。」と述べられ、令和8年度 高田河川国道事務所建設労働災害防止大会を終了しました。



閉会挨拶をする西田副会長